

部局名	健康福祉部	所属名	国保年金課	所属長名	皆見 隆明	電 話	483-1151 内線3150
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	9018		事務事業名称		退職被保険者等高額療養費					短縮コード		経常		臨時	9018	
予算区分	会計	10	国民健康保険事業特別会計		款	02	保険給付費		項	02	高額療養費		目	02	退職被保険者等高額療養費	
区 分	☐ 自治事務 ☐ 法定受託事務				根拠法令等		国民健康保険法第57条の2、国民健康保険施行令第29条の2・第29条の3・第29条の4、国民健康保険法施行規則第27条の17									
☒ その他																
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																
高額療養費としては昭和50年10月1日より法定給付化。ただし，退職者医療制度は昭和59年10月1日に創設されたことにより退職被保険者等の高額療養費の開始は同日。経済的負担の緩和。平成20年4月1日より， 6 5 歳以上の退職被保険者及び，その被扶養者について一般被保険者への切り替えが開始される。 なお，退職者医療制度は経過措置として平成26年度まで新規適用を行い，平成27年度以降は，対象者全員が65歳年齢到達により退職者医療制度の資格を喪失する，もしくは，社会保険に加入し国民健康保険の資格を喪失するまで存続する。																
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして								
事業区分「その他」のため評価対象外						大項目（節）	03	社会保障								
						中 項 目	01	国民健康保険								
						小項目（施策）	01	財政運営の健全化								
						細 項 目	02	医療費（給付）の適正化								
					実施計画の計画事業											
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	八千代市国民健康保険退職被保険者等のうち，高額療養費に該当する世帯。						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 国民健康保険加入者の所得状況を把握し、千葉県国民健康保険団体連合会で審査済の診療報酬データを受領・突合し、高額療養費に該当している世帯を抽出し支給予定案内葉書を発送する。該当者は国保年金課及び支所・連絡所に申請書の提出及び医療機関から発行された領収書を提示する。その申請書等により支給額を確定し、申請書に記入された金融機関への振込みを行う。また、「限度額適用認定証」を申請のあった被保険者に対して交付し、現物給付を行った。						
	※平成22年度に計画していること： 国保世帯の経済的な負担を軽減するため、高額療養費の支給予定者に申請案内を送付し、申請受付、支給までを行う。また、申請のあった被保険者に対して限度額適用認定証を交付し、高額療養費の現物給付を行う。						
意図 （何を狙っているのか）	年々高額化している医療費の自己負担額を抑制し、経済的な負担を軽減させる。						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区 分			単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	事業区分「その他」のため評価対象外	なし				
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	事業区分「その他」のため評価対象外	なし				
	指標 2						
	指標 3						
成果指標	指標 1	事業区分「その他」のため評価対象外	なし				
	指標 2						
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード	9018	事務事業名称	退職被保険者等高額療養費				所属名	国保年金課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			事業区分「その他」のため評価対象外			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
	☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
今後の方向性	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			事業区分「その他」のため評価対象外	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
事業区分「その他」のため評価対象外									

所属長コメント	事業区分「その他」のため評価対象外								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			事業区分「その他」のため評価対象外					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									